

低炭素社会の構築を目指し、下川町内の公共施設の中で最も化石燃料を消費している公共の温泉「五味温泉」に木質ボイラーを導入（北海道初）し、二酸化炭素削減を図るとともに地球温暖化対策の普及啓発に寄与します。また、下川町幼児センターにおいて、木質ボイラーを導入することにより、二酸化炭素の削減効果だけでなく、環境に優しい地域の資源で子供たちを育む森林源循環型社会の形成に寄与します。本プロジェクトにより、持続可能な森林経営の実現を図るとともに、地域の活性化やさらなる低炭素社会の実現に向けた、自治体主体による取組みの展開を進めていきます。



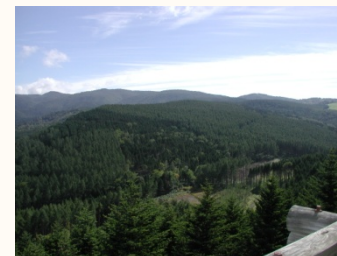
プロジェクトの実施場所	北海道上川郡下川町
削減量(予測)	【発行済】 2008.4月～2011.6月 715t-CO2 【発行予定】 2011年 248t-CO2 2012年 248t-CO2
在庫量	561t-CO2(2012年6月末現在)
クレジットの次回発行予定	未定
1t-CO2あたりの希望単価	要相談

北海道4町協議会(足寄町、下川町、滝上町、美幌町)では、継続的に森林を守り育てていくことを基本に、森林資源の新たな価値の創造を目指した取組みを進めております。

本プロジェクトで使用する木質くずは、下川町内製材工場の製材製造工程において発生する端材を活用しており、森林資源を有効活用しながら二酸化炭素の削減を行っています。こうしたことから、本J-VERを通じ、各企業様における排出量をオフセットするためにご利用いただくことで、CSR活動や企業イメージの向上が期待されます。

### 【下川町の概要】

北海道の北部に位置した農林業を基幹産業とした町です。人口は 約3,700人。町の面積の約9割が森林となっており、自然豊かな町です。平成20年(2008年)には、国の「環境モデル都市」として認定を受けており、豊かな森林資源を活用して、低炭素社会構築に向け、様々な取組を行っています。町の代表的なイベントである「アイスキャンドルフェスティバル」では、町中に3,000個のキャンドルが灯り、幻想的な雰囲気を演出しており、町の冬の風物詩となっています。



下川町有林



林地残材、  
林道支障木など



木質原料施設で  
木くず加工



五味温泉、幼児センターへ熱供給

### ■担当者連絡先

高橋 祐二 TEL:01655-4-2511

EMAIL: syoukou@town.shimokawa.hokkaido.jp

URL: <http://hokkaido-tree.main.jp/4rest/>